

第7.X章

アニマルウェルフェアと 豚生産システム

定義①

【商用豚生産システム】

商業的に取引される豚又は豚肉の生産を意図して
のために行われる豚の繁殖、育成及び管理の一部
又はすべてを含む作業を目的とした~~あらゆる商業上~~
の生産システム

【環境改良】

正常な行動の促進、認知活性化、異常な行動の
軽減のために、動物の環境の複雑さを高めること。
改良の目的は、動物の身体的及び心理的状态生理
機能を向上すること。

定義②

【常同性】

- 欲求不満、反復的な対処の試み、又は中枢神経系の機能障害によって引き起こされる反復的な行動である。
- 明らかな目的又は機能がない、既知の要因によって生ずる、異常な、反復的な、不変の行動の一連として発現する。
- ストレスのある状況に応じた、恒久的な中枢神経系の機能障害は、環境のその後の変更又はその他の処置を行っても、発症した常同性が治らないかもしれないことを意味することがある。

豚のウェルフェアの基準（測定指標）

【全体】

結果に基づく基準（測定指標）

→ 動物の状態に基づく基準（測定指標）

【飼養管理上の処置による合併症】

飼養管理を円滑化し、市場又は環境の要件を満たし、人の安全を向上し又はアニマルウェルフェアを守るために、外科的去勢、断尾、切歯、牙切り、個体標識、鼻輪、蹄の処置等の痛みを伴う又は潜在的に苦痛な処置が豚に行われる。

痛みを伴う処置①

外科的去勢、断尾、切歯、牙切り、個体標識、鼻輪等の処置は、飼養管理を円滑にするため、市場又は環境の要件を満たすため、人の安全の向上又はアニマルウェルフェアを守るために必要な場合のみ行う。

これらの処置は必要な場合に限って、動物への痛み、苦痛及び苦しみを最低限にする方法(たとえば、獣医師の勧告/監視の下での麻酔又は鎮痛の使用)で行われるものとする。

痛みを伴う処置②

- 卵巣摘出は、麻酔及び長く続く鎮痛なしには実施すべきではない。
- 豚の卵巣の機能を可逆的・効果的に抑制する免疫学的製品が利用可能になっている。
- 免疫学的な発情期の防止は、卵巣摘出を避けるために奨励される。

飼料・水の給与

- すべての豚は、以下の目的のために、適切な量・質の飼料・栄養を毎日提供される。
 - 健康を維持すること
 - その生理的及び行動の要求を満たすこと、かつ、— 飼料探索の要求を満たすこと
- 飼料・飲水は、不当な過剰又は豚が傷つく競争や損傷を防ぐ方法で提供される。
- 豚の胃潰瘍を可能な限り防ぐため、十分な繊維を含んだ飼料を給与する。

環境改良①

動物は、

- 正常な行動(例えば、鼻で地面を掘る、かじる、飼料を探す、飼料以外のものを噛む)の促進のため
- 異常な行動(例えば、尾、耳、肢、横腹に噛みつく、無関心な行動)の軽減のため
- 生理学的機能身体的及び心理的状态の向上のため

複雑さ、操作可能性及び認知活性化(例えば、飼料探索の機会、群による舎飼)の環境を提供されるものとする。

環境改良②

豚は、ウェルフェアを向上することを目的とした、物理的及び社会的な環境の改良を様々な方法で提供されるものとする。

例として、

- 探索、噛む、鼻で地面を掘り探す、操るための物質
- 群飼または個別で飼われている豚に視覚的、嗅覚的、聴覚的に他の豚と接触させる社会的な改良
- 好意的な人間との接触（例えば、肯定的な出来事（給餌を含むこともある）に関連する定期的な直接の物理的接触、機会があったときに、軽くたたき、さする、搔く、話しかける）

が挙げられる。

舎飼

- 豚を収容する新たな施設を計画/既存の施設を改修する場合には、アニマルウェルフェア・動物衛生に関して設計上の専門的な助言が求められるものとする。
- 成熟雌豚及び未経産雌豚は、他の豚と同様に、社会的な動物であり、群れで生活することを好むため、妊娠した成熟雌豚や未経産雌豚はなるべく群れで飼うものとする。~~成熟雌豚及び未経産は、出産後、早期に、繁殖に影響することなく混合できる。~~

空間的ゆとり①

【群飼型システム】

- 潜在的な攻撃者を避ける/逃げるための十分な空間・機会を提供する。
- 異常に攻撃的な行動が見られた場合には、可能であれば、空間的ゆとりの増加、バリアを設ける、又は攻撃的な豚を個別に飼育するなどの是正措置をとる。

空間的ゆとり②

【ストール・クレート】

給餌、妊娠、授精用ストール、分娩用クレートは、豚が行動をとれるように適切な大きさとする。

- ストール/クレートの壁にぶつかることなく、自然な姿勢で起立する。
- 上の棒に触れることなく、自然な姿勢で起立する。
- ストール/クレートの両端に同時に触れることなく起立する。
- 隣の豚を邪魔すること、他の豚によって損傷することなく、快適に横臥する。

照明

- 舎飼システムでは、すべての豚がお互いに見え、周りを視覚的に調べ、その他正常な行動パターンを示し、職員が豚の適切な観察のために明確に見えるのに十分な光のレベルとする。
- 照明体制は24時間周期とし、十分に連続した暗期と明期（それぞれ6時間以上が好ましい）を含む。
- ~~1日につき最低6時間、最低でも40ルクスの照明が推奨される。~~

分娩及び泌乳

- 分娩場所の材が、可能であれば分娩の少なくとも1日何日か前に成熟雌豚・未経産雌豚が利用可能である提供するものとする。
- ~~新たな建物を計画する際は、分娩豚のための開放(ルース)舎飼システムを検討するものとする。~~
- 結果動物の状態に基づく基準(測定指標)
死亡率及び淘汰率(子豚及び成熟雌豚)、罹病率(子宮炎及び乳腺炎)、行動(落ち着きのなさ、どう猛さ)、繁殖効率、外観(損傷)

離乳

- 離乳子豚は、疾病の伝染を最小限にするため、成熟雌豚の飼育場所から離れた、清潔で消毒された豚舎に移動する。
- 子豚は、疾病管理目的で獣医師が別の方法で勧告する場合を除き、3週齢又はそれ以上で離乳されるものとする。
- 早期の離乳システムは、子豚の良好な管理・栄養が必要となる。

遺伝学的選択

- 品種改良は豚のウェルフェアを向上させることができる。
- 社会的な影響を品種改良プログラムに含めることはまた、負の社会的相互作用を低減し、良好な社会的相互作用を増加し、群飼いされている動物に大きな良好な効果をもたらすことがある。

動物衛生管理

- 疾病・健康問題の予防・治療のために、獣医師の診察に基づき考えられた有効なプログラムを整備する。これには、バイオセキュリティ・検疫の手順書、代替豚の馴化、ワクチン接種、良好な初乳管理、生産データ等の記録が含まれる。
- 寄生虫による負荷、ハエ昆虫の管理に関しては、監視、管理、治療のためのプログラムを適宜実施する。

人道的殺処分

- 疾病/損傷した豚に対して、治療するか、人道的殺処分をするかを決定するため、速やかに診断を行うものとする。
- 家畜飼養施設は、農場での人道的殺処分について文書化された手順及び必要な設備を整備するものとする。